

## 【第4号】

令和4年8月9日発行  
刊行物登録番号 2022-97  
調布市郷土博物館文化財係  
☎042-481-7656

✉[kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp)

# みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと 国史跡下布田遺跡 史跡整備ニュースレター

## 市民ワークショップで基本設計の検討

史跡公園整備に向けた基本設計へ市民意見を反映させるため、市民ワークショップを開催しました。第3回、第4回の検討結果をお知らせします。

### 第3回「下布田遺跡の現地をみてみよう」

令和4年6月19日(日)、13名の方に参加いただき、第3回ワークショップを開催しました。第3回は、下布田遺跡の現地や出土遺物を見学し、現地において気づいた遺跡の魅力や整備において反映させてほしい点について意見交換をしていただきました。

#### 1. 下布田遺跡の見学

下布田遺跡出土の土版（縄文人のお守り）や石棒集積遺構の石棒を実際に手にしていただき、今から2800年前の遺物の手触りや重さを実感していただきました。下布田遺跡の現地見学では、「ここから花火大会がよく見られるんだ」「史跡南側の道路は通学路だけど道幅が狭くて危ない」「布田崖線のくぬぎや朽木、腐葉土が昆虫には大切」など様々な視点から意見が出ました。

#### 2. 参加者意見交換

見学後、現地での気づきについて意見交換していただきました。縄文時代の学びについては「縄文の祈りなど精神世界の表現について、現地でイメージできることが大事」「ARやVRなどの活用も必要では」「小学校高学年から中学生にターゲットをしばった体験学習が必要」といった意見が出されました。参加者共通の意見として、現状の自然環境に配慮しながら、下布田遺跡や縄文時代の学びをはじめとして、様々な体験学習ができるのがよいというものでした。現状の豊かな布田崖線の自然を保全しつつ、史跡整備を推進するという方向性が確認できました。



土版（縄文のお守り？）



現地見学の様子（下布田遺跡）



意見交換風景（郷土博物館分室）

## 第4回市民ワークショップ「下布田遺跡整備への意見をまとめよう」

令和4年7月17日(日)、8名の方に参加いただきました。第4回は、これまでの検討を踏まえ、基本設計への市民意見をまとめるために、グループワークを行いました。3名の欠席者からも意見の提出があり、グループワークに反映させました。

### 1. グループワーク

ワークショップテーマに沿って1班は「学び・活用・イベント」、2班は「憩い・防犯防災」について意見を出し合っていました。

### 2. 発表

グループワークで出された主な意見は下表(左)のとおりです。意見と整備基本計画を踏まえ、史跡整備の核となるガイダンス施設に必要な機能が下表(右)です。

縄文の学びにとどまらない多様な活用や、防災防犯、ボランティア活動などに関する意見が出されました。

様々な意見の中でも、将来を担う子どもたちが下布田遺跡や現状の豊かな自然環境について、郷土の宝として愛着がもてるような史跡公園整備が望ましいというのが共通の結論でした。



発表の様子



ワークショップにご参加のみなさま

### 今後のワークショップについて (予定)

ワークショップでは、公園の整備内容や活用案、将来の管理に至るまで、真剣かつ積極的にご意見を出していただきありがとうございました。今後は、公園利用ルールや管理運営の仕組み作り等を考えるワークショップを予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております！

史跡整備に関する主な市民ワークショップ意見		ガイダンス施設に必要な機能	
学び	①展示解説 ・縄文時代の理解はデジタルと展示施設を活用 ②体験学習 ・縄文の木や植物の復元による縄文の自然に関する 学び ・縄文の服・調理・土器づくりなど縄文の生活(衣食住)に関する学び ・縄文人が見た風景、縄文の森 ・小学生・中学生の学びの場 ※下布田遺跡の存在価値を継承していくためには、地元の学校との連携が不可欠 ③派生する様々な学び ・生命の学び(昆虫・野鳥観察)・自然の学び(薪・たい肥づくり)	縄文に関する学習拠点機能	管理運営機能  ガイダンス施設や史跡全体を管理する管理運営主体者の事務所機能
憩い	・自然の中でお弁当を食べるなど、憩いの場 ・身近な自然環境の中で散歩やジョギング、自然体験やあそびができる場所 ・多摩川サイクリストの休憩スポット	多様な展示、体験事業、学校連携事業など、郷土の歴史・文化を学ぶために必要な展示・学習機能	
イベント	・「遺跡祭り」を開催し、周辺住民に下布田遺跡の価値を知ってもらう ・野外イベント(フリーマーケット、多摩川花火、災害対策炊き出し、バーベキュー等)	交流・活動拠点機能	
防災・防犯	・公園との境界は低い柵か花壇を設ける ・わんわんパトロールによる見回り ・定期的な草刈り予算確保と実施	地域住民の日常的な憩い・市民交流の場所的機能	
ボランティア活動	・ボランティアの活用と組織化(ゴミ拾い、見守り、ガイド、広報) ・市民サークルとのタイアップ(野鳥観察、写生会、コンサート、野点)	史跡管理運営の担い手となるボランティア組織の活動拠点機能	
その他	・遺跡の愛称を市民から募集する。 ・ヤギ除草		